



新HP

## 「一生懸命」

校長 菅谷 和孝

学校から見える富士の山も澄んだ空気に白い雪もくっきりと映える季節となりました。月日が経つのも早いもので令和6年のカレンダーも1枚を残すのみとなり、あわただしさを増す12月に入りました。

さて現在、3年生に向けた校長面接を行っており、今週中にはほぼ終了する予定です。その校長面接で「歴史上の人も含めて尊敬する人はいますか？」という問いに対し、圧倒的に多い回答が「親」という回答が返ってきます。さらに「どのようなところが尊敬できますか？」と聞くと、「今まで育ててきてくれた」「忙しいのに自分のために愚痴も言わず色々やってくれる」「好きなことをやらせてくれた」「相談事を親身になって聞いてくれる」「ご飯を毎日作ってくれる」など、感謝の言葉の嵐でした。あえて歴史上の…と加えて聞いてみたのですが、迷わず回答してくれた生徒。改めて「本校の生徒たちは大切に育てられてきたんだなあ」と感じながら面接をしていました。もちろん、歴史上の偉人やスポーツ分野で活躍している人、今までお世話になった人などを述べていた生徒もいました。どれも明確な理由が存在し、憧れているだけではなく、その人の行動や言葉を自分の実生活に取り入れ、自分を高めていこうとしていることがよくわかりました。また、「藤久保中学校はどのような学校ですか？」という問いに対して、「小学校からの繋がりもあるのですが仲が良いです」「学年、男女問わず仲が良いです」「挨拶ができる学校」「元気で明るい生徒が多い」と良い雰囲気のある学校であると答えてくれました。中には「先生方が楽しく、他の学校の生徒に羨ましがられています」という話をしてくれた生徒もいました。

校長として生徒1人1人、約15分弱の話をする時間でしたが、毎回毎回感心する内容が多く、次のステージでもチャレンジしながら、何事も最後まで諦めることなく、目標に向かって努力し続け、大きく成長して活躍してくれるのだろうと楽しみにもなりました。3年生にとっては中学校生活最後の冬休みです。十分楽しんでほしいところですが、「今年の冬休みはどのような過ごし方をしますか？」という問いに対しても、「志望校合格に向けて勉強します」という生徒がほとんどで、こちらが「頑張りすぎないようにね」という思いになるほどでした。是非、計画を立て、メリハリを設けながら、体調に十分気を付けて、無理にならないよう努力してほしいと思います。そして、後悔のない受験(験)を乗り越え、最高の返事で卒業証書を受け取ってほしいとも感じました。

以前、20年くらい前の話になりますが、当時の3年生にこのような言葉を言われたのを思い出しました。「なんで先生たちは私たちにこんなに色々やってくれるんですか？」と。その生徒は私の学年の生徒ではなかったのですが、その学年は優しい子たちが多く、学年内のトラブルもほとんどない学年で、後輩たちにも慕われていた学年でした。まさしく、今の3年生に似た学年だったと思います。私は生徒の質問に対し、「応援したくなると感じさせる学年だからだよ。君たちに恩返しのもつりめでみんないるんだよ。」と答えました。当時の先生たちも「あの子たちのために」と全力で応援したい気持ちは同じだったと思います。もちろん、担当していた学年の先生たちの仲も良かったので、自然とそのような雰囲気になったのかもしれませんが、一生懸命は人を引き付ける力がある。1年生、2年生も必ずこの時期はやってきます。「楽しい」と「楽」は同じ漢字を使いますが、歩み方が全く異なります。今の「楽しい」、その先の「楽しい」を掴めるよう、一生懸命を大切にしてほしいと思います。

2学期も残すところあと2週間となり、冬休みに入ります。お正月を中心に家庭・親戚・友人などたくさんの人と交わる機会が多くなると思いますが、様々な交流を通して人間関係を学ぶと共に、家庭の一員としての連帯感や感謝の心を大切にする時間にしてほしいと思います。今年1年のご支援とご協力に心から感謝を申し上げます、新しい年がご健勝で幸多き年でありますよう、お祈り申し上げます。